

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当(期末配当金)の基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
インターネットホームページ	http://www.tr.mufg.jp/
公告の方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL http://www.nozawa-kobe.co.jp 不測の事態により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞・神戸新聞に掲載します。
上場証券取引所	大阪証券取引所 市場第2部

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	お手続き・お問い合わせ先
●お取引の証券会社等の口座で管理されている当社株式に関する配当金振込指定、単元未満株式買取請求、住所変更等のお手続き	お取引口座を開設されている証券会社
●未受領の配当金に関するお手続き ●特別口座で管理されている当社株式に関する配当金振込指定、単元未満株式買取請求、住所変更等のお手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)

▶特別口座について

特別口座では、株式のご売却はできません。
証券会社に口座を開設いただき、お持ちの株式を当該口座に振り替えていただきますと、株式のご売却が可能となるばかりでなく、お持ちの株式の管理や株式に関するお手続きも当該証券会社で一括して行えるようになり便利です。

■ この報告書についてのお問い合わせは右記までお願いいたします。 株式会社ノザワ TEL 078-333-4111



この報告書は、環境に配慮した植物油インキを使って印刷しています。



株主のみなさまへ

第152期 中間報告書

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで

旺盛な中国建材需要に応え、生産・供給体制を確立。

経済発展が続き、著しい需要拡大が見込まれる中国建築市場での事業展開を加速させるため、本年5月、積水ハウス株式会社と中国遼寧省瀋陽市に合併会社を設立。併せて上海の営業拠点を現地法人化しました。いよいよ中国における当社グループの新たな成長戦略がスタートします。

中国東北部最大都市・瀋陽に工場を建設

人口786万人、中国第5の規模を誇る大都市・瀋陽市の中心部から車で40分、多くの日系企業が進出している工業地区で、新工場「野澤積水好施新型建材（瀋陽）有限公司」の建設を進めています。中国東北部の交通の中枢である瀋陽市には、航空・鉄道・高速道路のネットワークが整備され、近隣は石炭、鉄鉱石、油田など豊富な産出資源を活かした一大コンビナートが形成されるなど、中国屈指の工業地帯の一つとなっています。当社は2012年春からこの新工場で、住宅向け押出成形セメント板「住宅用軽量外壁材」と、マンション・オフィスビルなどの内外壁材「アスロック」の生産を計画しています。



新工場データ

会社名 野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司
所在地 中国遼寧省瀋陽市経済技術開発区
生産能力 月産約30,000平方メートル
操業開始 2012年4月(予定)



積水ハウス株式会社(瀋陽工場)の起工式の様子と建設中の合併会社新工場建屋
(写真提供:積水ハウス株式会社)

上海の営業拠点を現地法人化

生産拠点の誕生に併せて営業拠点の整備にも注力し、既存の上海駐在員事務所を本年4月より法人化しました。これにより、当社商品の現地生産・現地供給体制を整え、急拡大かつニーズの高度化が進む中国住宅・建築市場での競争力強化を進めていきます。

販売会社データ

会社名 野澤貿易(上海)有限公司
所在地 中国上海市延安西路
設立日 2011年4月



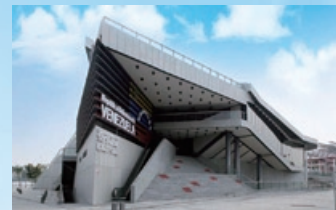
上海万博パビリオン、深圳迎賓館などの 国家級プロジェクトに当社「アスロック」を採用



中国のサービスアウトソーシング産業R&D棟(上海)
(アスロック60mm アスロックルーバー)



深圳迎賓館
(アスロック60mm タスロック)
(アスロックVカットストライプ)



上海万博 ベネズエラ館
(アスロック50mm タスエンボス)



深圳水上体育館
(アスロックルーバー)

「住宅用軽量外壁材」(積水ハウス(株)商品名シェルテックコンクリート)瀋陽市(中国)展示会へ

2011年9月、瀋陽市(中国)で開催された「第5回東北アジア(瀋陽)輸出入商品博覧会」に、積水ハウス株式会社の出展ブースの一面に、「住宅用軽量外壁材」(積水ハウス(株)商品名シェルテックコンクリート)が展示されました。当社社員も参画し、製品の説明を行うとともに、当社の主力商品「アスロック」の中国語版カタログを配布して、より多くの来場者に「押出成形セメント板」の関心を深めていただくとともに、「アスロック」の認知の拡大に努めました。





代表取締役社長 野澤 俊也

ごあいさつ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。ここに第152期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の「中間報告書」をお届けいたしますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

平成23年12月

当第2四半期の取り組みと成果

主力商品「アスロック」受注増により、黒字転換へ

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による経済活動の停滞や原発問題、さらには電力規制と大きな打撃を受けたものの、サプライチェーンの復旧やインフラ整備等により回復の兆しが見え始めました。しかしながら、欧州の財政問題による欧米の景気減速や急激な円高進行から輸出産業を中心に企業収益が圧迫され、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。建築材料業界におきましても、新設住宅着工戸数は一部に底打ちの兆しが見られるものの、依然として低水準で推移しており、震災からの復旧復興の遅れや企業間競争の激化等、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは環境型商品の開発を進め、商品群の拡充を図りました。押出成形セメント板「アスロック」と太陽電池を一体化した外壁システム「アスロックソーラーウォール」（特許出願済）を昨年7月より発売し、第1号物件施工完了後に商品モニタリングを実施した結果、関係各所より高い評価を受けたことから本年7月より全国販売を開始しました。また、「アスロック」の形状の自由性を最大限生かし、夏場の強烈な日射熱を跳ね返す機能的なリブを持つ押出成形セメント板「レフスカイ」と、その機能を最大限に発揮するため赤外線反射率の優れた新たな遮熱機能塗装仕上げを施した「カラリードクール」を本年8月より同時発売しました。いずれの商品も、ヒートアイランド現象を抑制する業界初の機能付デザインパネルです。

さらに、押出成形セメント板で初めて「2011年度グッドデザイン賞」を受賞した「アスロックグリーンウォールビルトインタイプ」（特許出願済）は、外壁一体型ビルトイン壁面緑化パネルで省エネやヒートアイランド現象の緩和をはじめ、美観向上、環境負荷低減等顧客のニーズを捉えた商品で、本年10月より出荷を開始しました。また、アスロック発売40周年記念事業として設計者の皆様を対象に、斬新なパネルのデザインを自由にご提案いただく「アスロックデザインキャンペーン」を実施。第1期の最優秀作品を商品化した「ランダムライン900」（意匠登録出願済）を本年

7月より発売しました。遮光によるリブの陰影が大小異なる影の配列となり、時間の経過とともに壁面の表情を幻想的に変えるダイナミックで重厚感のある商品です。本年5月末に発表した第2期の最優秀作品につきましても、当社新商品として発売する予定です。一方、農業分野では、ミネラル肥料「マインマグシリーズ」に、有機栽培に使用できる「マインマグN（ナチュラ）」を追加し、本年3月より発売しました。有機栽培に適した土壌を作り、作物の光合成を促進することで、生育促進と品質向上が期待できます。当第2四半期連結累計期間の販売数量は、販路の開拓によって206t（前年同期28t）と大幅に伸びております。

生産部門では、電力規制のなか、埼玉工場では休止中の自家発電装置の再稼働により不足分の電力を補いました。また、旺盛な販売数量の伸びに応えるため、柔軟な運転体制を行って受注数量の増加に対応しました。管理部門では、関係会社の業務システム構築等によるコスト削減に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、76億57百万円（前年同期比9.8%増加）となりました。品種別の売上高につきましては、押出成形セメント製品では、主力の押出成形セメント板「アスロック」は46億24百万円（前年同期比12.9%増加）、住宅用軽量外壁材は8億85百万円（前年同期比31.5%増加）となりました。一方、スレート関連は5億30百万円（前年同期比8.6%減少）、耐火被覆工事は4億34百万円（前年同期比13.5%減少）、石綿除去工事は1億57百万円（前年同期比31.1%減少）となりました。

利益面では、増産効果に加え、生産性の向上や諸経費削減を推進したこと等から、営業利益は1億93百万円（前年同期は51百万円の営業損失）、経常利益は1億37百万円（前年同期は92百万円の経常損失）となりました。投資有価証券評価損54百万円を特別損失として計上した結果、四半期純利益は15百万円（前年同期は1億38百万円の四半期純損失）となりました。

通期の見通し

臨機応変に市場機会を捉え、増収増益を目指す

今後のわが国経済の見通しにつきましては、東日本大震災からの復興需要もあり、景気は一部に持ち直しの動きはあるものの、欧米経済の減速や円高、原発問題の長期化、電力不足への懸念等から予断を許さない状況が続くものと思われまます。

このような状況のなか、当社グループは顧客ニーズを先取りした新商品・新工法の開発により、建材事業・環境対策事業・海外事業の拡大に取り組んでおります。

建材事業では、止水性能をアップしながらコストダウンを実現した、押出成形セメント板「アスロック」専用2次防水工法「ニューセフティ工法」を開発、拡販につなげてまいります。

環境対策事業では、ハイパート外断熱工事・スレートリフレッシュ工事等に加え、太陽電池一体型外壁システム、外壁一体型壁面緑化や遮熱機能塗装仕上げアスロック等、環境負荷低減に貢献できる商品の拡充により一層の事業拡大につなげてまいります。

海外事業では、中国遼寧省瀋陽市に積水ハウス株式会社と合併で設立した「野澤積水好施新型建材（瀋陽）有限公司」が来年4月の操業に向けて工場建設を進めております。また、上海市に設立した「野澤貿易（上海）有限公司」では営業人員の増員を実施し、これまで以上に「アスロック」の普及と拡販に努めてまいります。

生産部門におきましては、NNPS（ノザワ・ニュー・プロダクション・システム）による品質の向上と納期の短縮をはじめ、生産効率のさらなる改善によるコストダウンや需要動向に即応した生産体制の構築により、収益向上に努めてまいります。管理部門におきましては、ITの活用によって業務効率を高め、さらなるトータルコストダウンに取り組んでまいります。

これらの積極的な事業展開により、当連結会計年度は、売上高164億円、営業利益5億50百万円、経常利益4億30百万円、当期純利益1億90百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当第2四半期連結会計期間末 平成23年9月30日現在	前連結会計年度末 平成23年3月31日現在
■ 資産の部		
流動資産	7,436,947	6,476,809
現金及び預金	2,489,804	1,813,046
受取手形及び売掛金	3,765,121	3,398,562
たな卸資産	599,007	649,987
その他	587,978	632,019
貸倒引当金	△4,964	△16,806
固定資産	13,321,359	13,622,815
有形固定資産	10,770,065	10,929,765
建物及び構築物	2,490,726	2,557,275
機械装置及び運搬具	794,308	882,189
土地	7,284,080	7,284,080
その他	200,950	206,219
無形固定資産	15,221	15,048
投資その他の資産	2,536,071	2,678,001
投資有価証券	1,323,106	1,453,945
その他	1,246,558	1,270,999
貸倒引当金	△33,592	△46,943
繰延資産	346	520
資産合計	20,758,654	20,100,145

(単位：千円)

科目	当第2四半期連結会計期間末 平成23年9月30日現在	前連結会計年度末 平成23年3月31日現在
■ 負債の部		
流動負債	5,894,089	5,048,557
支払手形及び買掛金	2,337,154	2,372,485
短期借入金	2,591,000	1,663,000
賞与引当金	184,200	179,120
その他	781,735	833,952
固定負債	6,452,585	7,047,987
社債	—	10,000
長期借入金	2,280,000	2,842,000
再評価に係る繰延税金負債	2,277,849	2,277,849
退職給付引当金	1,397,950	1,371,349
資産除去債務	13,109	13,050
その他	483,675	533,738
負債合計	12,346,674	12,096,545
■ 純資産の部		
株主資本	4,808,888	4,840,486
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,470,572	1,470,572
利益剰余金	935,961	967,539
自己株式	△46,645	△46,626
その他の包括利益累計額	3,113,090	3,163,113
其他有価証券評価差額金	△27,164	22,715
為替換算調整勘定	△143	—
土地再評価差額金	3,140,398	3,140,398
少数株主持分	490,000	—
純資産合計	8,411,979	8,003,600
負債純資産合計	20,758,654	20,100,145

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期連結累計期間 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
売上高	7,657,558	6,975,751
売上原価	5,517,880	5,105,617
売上総利益	2,139,677	1,870,133
販売費及び一般管理費	1,946,068	1,921,597
営業利益又は営業損失(△)	193,608	△51,464
営業外収益	56,639	46,147
営業外費用	112,878	87,199
経常利益又は経常損失(△)	137,369	△92,515
特別利益	—	9,835
特別損失	59,127	52,801
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	78,242	△135,482
法人税、住民税及び事業税	70,935	13,875
法人税等調整額	△7,791	△11,064
法人税等合計	63,143	2,811
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	15,098	△138,293
四半期純利益又は四半期純損失(△)	15,098	△138,293

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

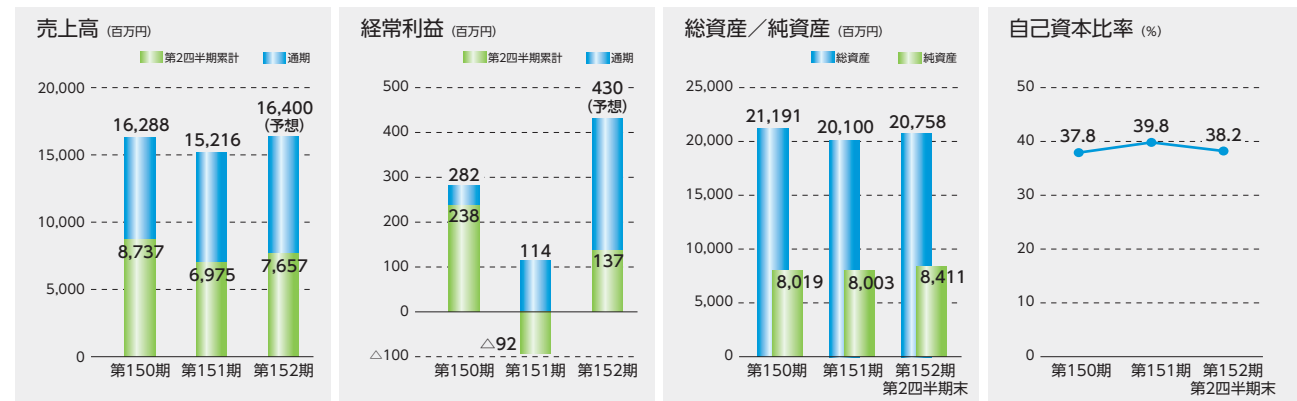
四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期連結累計期間 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	△50,640	196,467
投資活動による キャッシュ・フロー	△57,132	△97,640
財務活動による キャッシュ・フロー	792,405	△558,530
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△7,874	—
現金及び現金同等物の 増減	676,758	△459,703
現金及び現金同等物の 期首残高	1,813,046	2,732,386
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,489,804	2,272,682

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結決算ハイライト



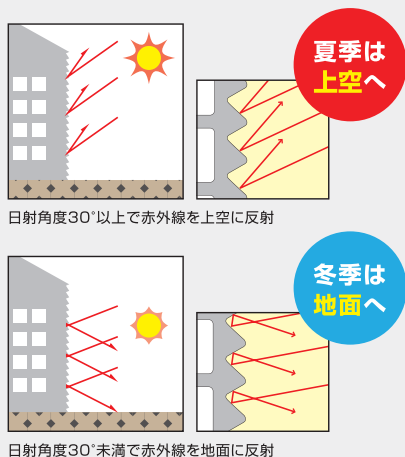
高機能商品の提供を通じて 都市環境の快適化、省電力に貢献。

「やすらぎと安心の創造」という企業理念の下、ノザワは急拡大が進む環境対応市場のニーズをいち早く取り入れ、話題の商品を投入しています。

業界初。独特のリブデザイン採用で、季節に合わせた日射しの反射を実現。 日射調整型アスロック「レフスカイ」

機能的なリブデザインによって夏場の強烈な日射しを上空に反射する押出成形セメント板「レフスカイ」を、本年8月に発売しました。この新商品は、当社従来品である押出成形セメント板アスロックの表面に、日本の年間日射角度をもとに一定のリブ角度設計を施すことで、太陽角度の高い夏季は日射しを上空に反射する一方、太陽角度の低い冬季は日射しを地表面方向に反射する機能を実現しています。建物表面および周辺温度の調整を自動的に行うため、屋内外の環境改善への貢献が期待できます。

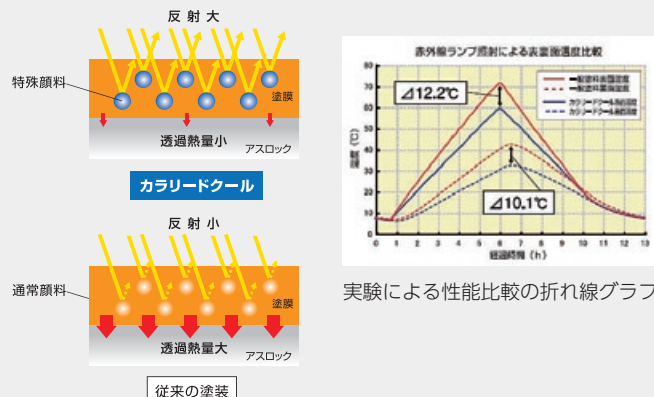
平成23年8月発売



赤外線反射塗装仕上げで、アスロック表面の温度上昇を抑制。 遮熱機能塗装仕上げアスロック 「カラリードクール」

同時に市場投入した「カラリードクール」は、赤外線を高反射する機能を持つ特殊日射反射顔料を配合したウレタン樹脂系工場塗装です。夏季においてアスロックの表面温度を12℃程度下げる効果を有しています。このカラリードクールの温度抑制効果を「レフスカイ」の仕上げとして施すことによりその機能が最大限に発揮され、室内環境の改善に繋がります。

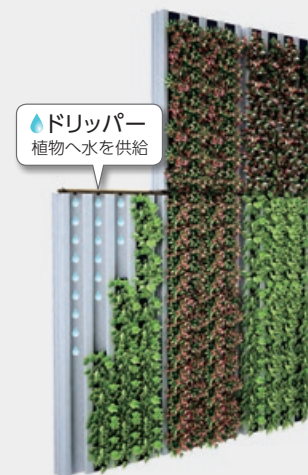
平成23年8月発売



緑化ブロックとの一体型緑化提案で2011年度グッドデザイン賞受賞。平成23年4月発売

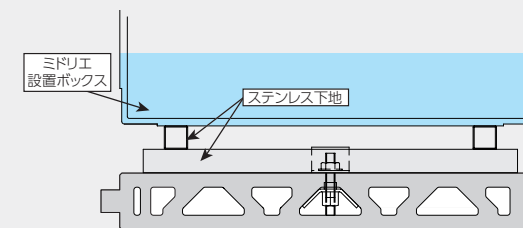
壁面緑化システム 「アスロックグリーンウォール(ビルトインタイプ)」

自由な形状成形が可能なアスロックの特性を活かし、アスロック自体に植栽用ポットの機能を付加した「アスロックグリーンウォール」を、本年4月に発売しました。従来の壁面緑化と異なり植栽固定用の部材が不要なため、コスト低減や施工の効率向上、壁面の軽量化が図れることなどが利点です。土壌がセパレート化しているため植栽を自由に取替えられるので、植栽配置など自由にアレンジができるのも大きな特長です。アスロックと植栽基礎ブロックを組み合わせた緑化方法は高く評価され、「土木・環境整備・地域開発・都市デザイン」部門において、押出成形セメント板では初のグッドデザイン賞(Gマーク)を受賞しました。



土の代わりに軽量新素材を採用。取り扱いが簡単で、植物がよく育つ。 壁面緑化システム 「アスロックグリーンウォール(ミドリエタイプ)」

石張り工法のアスロック下地の表面に、サントリーミドリエ社が開発したウレタンベースの新素材を人工培度とするシステムを取り付け、植物を植える壁面緑化システム「アスロックグリーンウォール(ミドリエタイプ)」を本年10月に発売しました。土を使わないため、従来のシステムで指摘されていた「土が壁面の一部に偏る」「土が流出し、植物が枯れる」「土が崩れて壁面が汚れる」といった問題を解消できる画期的なシステムです。



平成23年10月発売



※アスロックグリーンウォール(ミドリエタイプ)は、サントリーミドリエ株式会社との共同開発商品です。

○ 会社概要

社名 株式会社ノザワ
NOZAWA CORPORATION
創業 明治30年8月17日
設立 大正2年9月28日
資本金 24億4,900万円
従業員数 321名 (連結)
子会社 株式会社ノザワ商事
株式会社ノザワトレーディング
野澤貿易(上海)有限公司
野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司

○ 役員

代表取締役社長 野澤俊也
専務取締役 佐々木三七司
専務取締役 豊田和冲
常務取締役 三原伸夫
常務取締役 山口幸久
常務取締役 田淵義章
取締役 坂本茂紀
取締役 松永豊
常勤監査役 吉田慎祐
社外監査役 吉田眞明
社外監査役 羽尾良三
社外監査役 犬賀一志

○ ネットワーク

● 本社 〒650-0035 神戸市中央区浪花町15番地 TEL078-333-4111 (代)

● 支店・営業所

札幌支店 札幌市中央区大通西1丁目14番2 (第2有楽ビル)
仙台支店 仙台市青葉区一番町2丁目8番15号 (太陽生命仙台ビル)
東京支店 東京都中央区新川1丁目24番8号 (東熱新川ビル)
名古屋支店 名古屋市中区名駅3丁目10番17号 (IT名駅ビル2号館)
北陸営業所 金沢市本町1丁目5番17号 (リファール)
関西支店 神戸市中央区浪花町15番地
広島支店 広島市中区小町3番25号 (三共広島ビル)
松山営業所 松山市大手町2丁目9番地4 (石丸ビル)
九州支店 福岡市博多区博多駅前1丁目4番4号 (JPR博多ビル)



○ 株式の状況

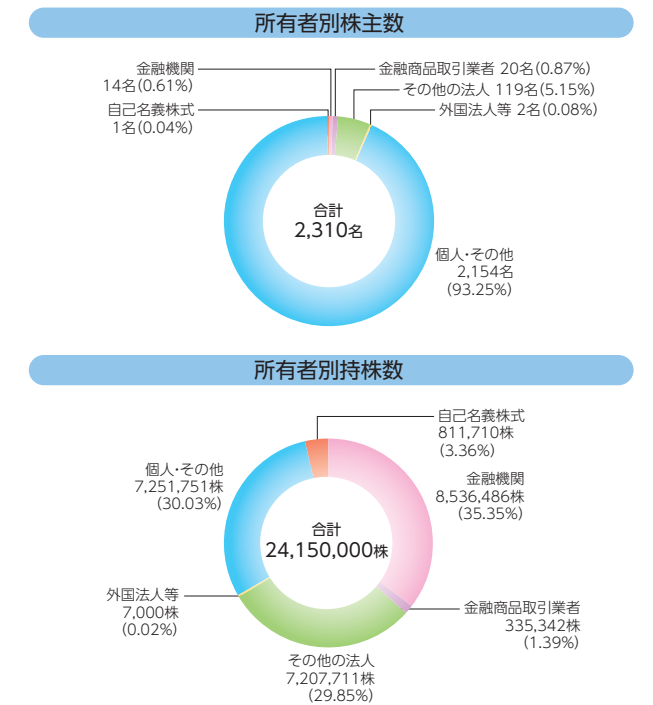
発行可能株式総数 60,000,000株
発行済株式の総数 24,150,000株
株主数 2,310名

○ 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本興亜損害保険株式会社	1,749	7.49
日本生命保険相互会社	1,744	7.47
株式会社三井住友銀行	1,153	4.94
神栄株式会社	973	4.16
ケーオーディー株式会社	836	3.58
東京海上日動火災保険株式会社	724	3.10
ノザワ従業員持株会	681	2.91
CBC株式会社	603	2.58
三井住友海上火災保険株式会社	577	2.47
日工株式会社	568	2.43

(注) 持株比率は自己株式(811,710株)を控除して計算しております。

○ 株式分布状況



ホームページのご案内

URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp>

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様へのタイムリーなIR情報の開示に努め、施工例、新商品情報も随時更新しています。英語版・中国語版も今後ますますの充実を図ってまいります。

